香川いのちのリレー財団だより

第21号

香川県高松市番町 4-1-10（香川県医療政策課内　）
tel 087-832-3315 fax 087-806-0248
ホームページ　https://www.inochi-relay-kagawa.jp/
発行者：公益財団法人香川いのちのリレー財団
令和 8 年 10 月発行



幅広いアプローチ先へ



〈さぬきメディカルラリー〉



〈高校生達と…〉



〈病院祭など〉



グリーンリボンキャンペーンの天使
ハーティ

１人が救える最大の人数

移植希望者約17,000人のうち、年間で移植を受けられるのはわずか4%。いま、この瞬間にも、多くの方が移植を待ち望んでいます。

11人

ごあいさつ

公益財団法人香川いのちのリレー財団　理事長　長 尾 英 司



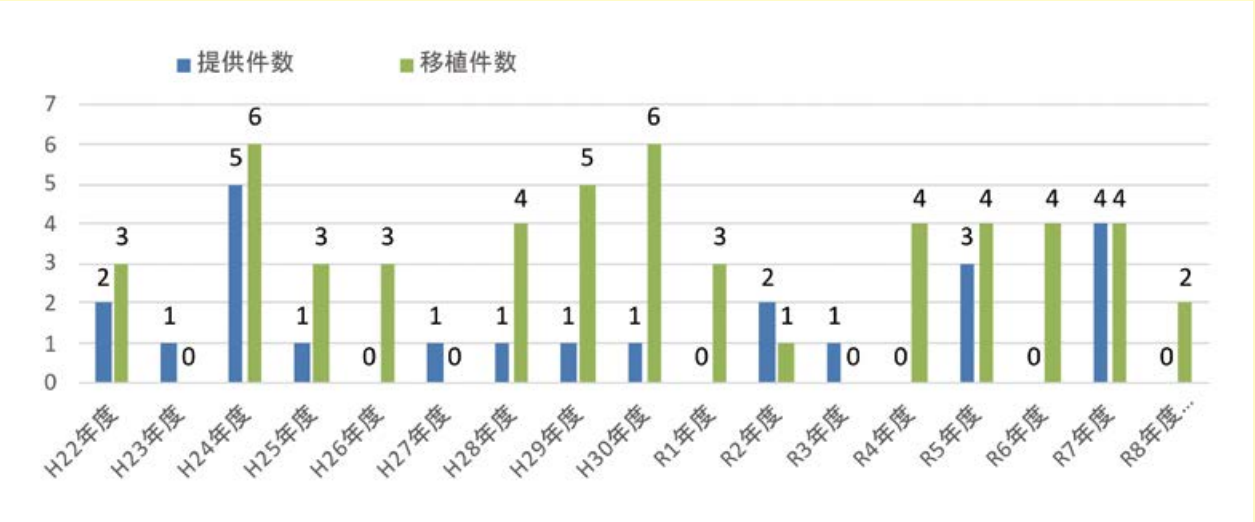
臓器移植の推進につきまして、日頃から、当財団の事業活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、臓器移植の現状につきましては、昨年は全国における１年間の臓器移植につながった臓器提供が、脳死後１４４名、心停止後１２名、あわせて１５６名の方からあり、臓器移植は６３６件行われました。県内においては、３名の方から脳死下臓器提供があり、６件の臓器移植が行われました。また、今年２月には、心停止後の臓器提供が１名の方からございました。本県は、令和７年度の人口１００万人あたりの脳死下臓器提供者数は、全国において２番目に多い県となっております。

このような中、当財団といたしましては、引き続き、臓器を提供する方や、そのご家族の善意が最大限に生かされるよう、日本臓器移植ネットワークや県内の関係医療機関の皆様と連携いたしまして、移植体制の整備の推進や臓器移植に関する知識の普及啓発を、積極的に進めていくこととしております。

どうか、皆様方におかれましても、今後とも当財団の事業の推進、運営につきまして、一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

香川県における状況（提供および移植数、ドナー情報数）〔H22年4月～R8年8月末現在〕（膵腎同時移植は2臓器）



『いのちのリレー』をつなぐために

香川県立中央病院　呼吸器外科　塩 谷 俊 雄



今年度より、香川県立中央病院の院内コーディネーターを務めることとなりました。

これまで私は、岡山大学大学院生および岡山大学病院臓器移植医療センターの一員として、約4年間にわたり肺移植医療に携わってきました。肺移植35例を経験し、そのうち15例ではドナー肺摘出に参加しました。また、臓器提供候補者の医学的評価を行うMedical Consultant（MC）も6例担当し、現在は移植認定医としても移植医療に関わっています。

肺移植に携わる中で、移植医療の力を強く実感した場面が何度もありました。在宅酸素療法を必要とし、少し動くだけでも息切れしていた患者さんが、移植後には自分の足で歩き、笑顔で退院していく。その姿を目の当たりにするたびに、肺移植が患者さんの「命」だけでなく、その後の「生活」を取り戻す医療であることを感じました。

一方で、忘れられないのは、移植を待ちながらその機会を迎えることができなかった患者さんたちです。肺移植では待機期間が約2年半ともいわれ、その間に病状が進行し、残念ながら亡くなられる方も少なくありません。移植を必要とする患者さんのそばにいるほど、ドナー不足という現実を身近に、そして重く感じてきました。

これまで私は主に、臓器を受け取るレシピエント側から移植医療を見てきました。ドナー肺摘出やMCとして臓器提供に関わる機会はありましたが、提供施設の院内で、患者さんやご家族に寄り添いながら臓器提供を支える立場を経験したことはありません。しかし、提供された臓器がどれほど大切に受け継がれ、その先で患者さんやご家族の人生につながっていくのかは、これまでの経験を通して知っています。

院内コーディネーターとして、患者さんとご家族の意思が尊重され、必要なときに適切な選択肢を提示できる体制を院内で整えていきたいと考えています。そして、臓器提供という選択がなされた際には、ドナーとそのご家族の思いを大切に受け止め、それを待っているレシピエントへ確実につなぐ。その「いのちのリレー」がより良い形で行われるよう、これまでの経験を生かしながら力を尽くしていきたいと思います。故郷である香川の地で、この「いのちのリレー」を支える一助を担えることを、大変光栄に思っております。

院内移植コーディネーターを拝命して

高松赤十字病院　HCU 看護師　松 岡 知 里



高松赤十字病院は香川県高松市にある脳死下臓器提供施設の認定病院で、腎移植も行っている地域の中核病院です。本院では、入院時にすべての患者様に臓器提供意思表示カードを持っているか、又はカードに意思を記載しているかとお尋ねしています。なぜ入院時に臓器提供についての話をお聞きするのか、と思っている人も多いのではないでしょうか。私自身、臓器移植に関する知識や経験も浅かった頃は、「なぜ入院時というデリケートな時期に確認するのだろう」と疑問を抱いた事もありました。しかし、その後の看護実践を通して、この確認がいかに重要であるかを深く学びました。

私は血液内科で骨髄移植や化学療法の看護に携わり、10 年目からは集中治療室に配属となりました。常に死と隣り合わせの環境の中、患者様の意識レベルが低下し、ご本人の希望を直接十分に伺うことができない状況下で、「患者様が本当に望む治療や最期とは何だろうか、患者様やご家族の思いを十分に傾聴できているのだろうか」と悩む日々を送っていました。その中で、患者様の命をつなぐ方法として「臓器移植」がある事を学び、一人のドナーとご家族の出会いを経験しました。葛藤の中で患者様の生き方や性格を思いだしながら臓器提供を選択した母親の強い姿に触れたとき、命をつなごうとするご家族を最も近くで支えることこそ、私たち看護師の果たすべき役割であると確信しました。

突然の事故や病気により、ご家族は過酷な選択を迫られます。入院時に意思表示の有無を確認しておくことは、いざという時に臓器提供を終末期の選択肢のひとつとして丁寧にお伝えし、早い段階からご家族を支援するための大切な一歩となります。移植コーディネーターとして「臓器提供をする・しない」そのどちらの選択においても患者様がその人らしい最期が迎えられるよう、またご家族が医療スタッフとともに最善の意思決定を行えるよう、全力で寄り添いサポートしていきたいと思います。

最後になりましたが、私自身まだまだ学びの途中にあります。今後は院内コーディネーターとして、院内外での臓器移植への関心や理解を広げる活動に努めるとともに、最新の知見や情報を取り入れ、医療チーム一丸となって「命をつなげる医療と看護」を実践していきたいと考えています。

香川県から院内コーディネーターを委嘱されました

（敬称略）


松原 美佐岐
（高松市立みんなの病院）


間島 圭美
（高松市立みんなの病院）


南 裕博
（高松市立みんなの病院）


藪野 論
（香川労災病院）


久保田 恵
（香川労災病院）


塩谷 俊雄
（香川県立中央病院）


山本 直美
（香川県立中央病院）


藤重 和久
（三豊総合病院）


森川 礼子
（三豊総合病院）


伊東 早苗
（三豊総合病院）


原田 理津子
（三豊総合病院）


十川 美香
（高松赤十字病院）


松岡 知里
（高松赤十字病院）


大川 早耶香
（香川大学医学部附属病院）


石田 千尋
（香川大学医学部附属病院）


田村 実鳥
（四国こどもとおとなの医療センター）


三谷 沙織
（四国こどもとおとなの医療センター）





〈院内コーディネーター委嘱状交付式〉



香川県内の移植施設

病院名	担当科	医師	電話番号	診察日等注意事項
香川大学医学部附属病院 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1	**腎臓移植を希望される方** 泌尿器・副腎・腎移植外科	杉元 幹史 上田 修史 田岡 利宜也	087-898-5111	【腎臓移植】 火・金：午前 金：午後（新患対応） ※透析施設から地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2412）
	膵臓移植を希望される方 消化器外科	岡野 圭一 大島 稔	087-898-5111	【膵臓移植】 火：午前 木：午前 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-891-2412）
高松赤十字病院 〒 760-0017 高松市番町 4-1-3	腎不全外科	山中 正人	087-831-7101	月 :13:00 ～ 15:00 火 :13:00 ～ 15:00 木 :13:00 ～ 15:00 ※地域連携室経由で診察予約が可能です 地域連携室（Tel:087-831-8131）

～こころ温まるご支援ありがとうございます～

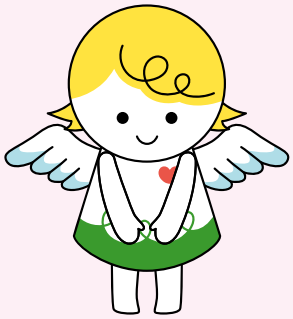
令和７年度は法人会員 28 法人、個人会員７名の皆様にご支援をいただきました。

令和７年度　賛助会員名簿　（敬称略・五十音順）

〔法人会員〕
淡河医院
一般社団法人　香川県医師会
一般社団法人　香川県腎臓病協議会
医療法人讃楡会　みとよ内科にれクリニック
医療法人社団　海部医院
医療法人社団健愛会　あきやまクリニック
医療法人社団秀聡会 こはし内科・腎クリニック
医療法人社団新進会　おさか脳神経外科病院
医療法人社団 宅光会 リウマチ・腎臓内科　はちまんクリニック
医療法人社団ひかり会　河内病院
医療法人社団豊南会　香川井下病院
医療法人社団　山本ヒフ泌尿器科医院
医療法人社団　湯浅クリニック
オーダー商事 有限会社
香川大学医学部附属病院
香川県済生会病院
株式会社　香川銀行　総務部
株式会社　百十四銀行　県庁支店
公益社団法人　香川県看護協会
社会医療法人財団大樹会　総合病院回生病院
四国こどもとおとなの医療センター
高松市立みんなの病院
高松東ライオンズクラブ
高松ライオンズクラブ
高松ロータリークラブ
三豊総合病院
屋島総合病院　　ほか

〔個人会員〕
青江　基
大北　真哉
中原　薫
南原　義秋
吉本　具視　　ほか





賛助会員ご加入のお願い・ご案内

当財団では、臓器移植の普及推進を目的として、これまでに普及啓発グッズの作成・配布や、臓器移植に関する出前講座等の啓発活動、医療関係者の研修活動等、さまざまな活動を行ってまいりました。今後、さらなる普及推進を図るためには、知識の普及啓発等について一層の取組みを行うことが重要ですが、これらの活動は当財団だけでできるものではなく、臓器移植に対するご関心及び移植医療の必要性へのご理解に支えられてこその活動です。

今後さらに、臓器移植を待ち望む方々のために充実した活動を続けていく所存ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

【賛助会員】
●個人会員　年会費　１口　3,000 円
●法人会員　年会費　１口　10,000 円

【振込先】
●百十四銀行　県庁支店　普通　0930735
●香 川 銀 行　県庁支店　普通　1011246
（上記２行口座名義：公益財団法人香川いのちのリレー財団
理事長　長尾 英司）
● 郵便振替
（所定の振込用紙がありますので、ご連絡ください）

当財団は、公益法人への移行に伴い、特定公益増進法人となり、当財団にお支払いいただく賛助会費は、税法上寄附金として扱われ、一定の要件のもとで税制上の優遇措置の対象となります。
くわしくは財団ホームページ『https://www.inochi-relay-kagawa,jp』をご覧ください。

令和７年度　事業報告

1　腎臓移植に関する助成

腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査料の助成として、10 名に 1 人当たり 20,000 円を交付した。

2　臓器移植に関する関係機関との連絡調整

（1）協力施設の体制整備
　医療機関が実施する院内研修会、院内マニュアルの作成等に対し、積極的な支援を行い、院内体制の整備を進めた。また、臓器移植クリップバインダーを作成し、関係医療機関へ配布した。
（2）かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議開催
　臓器提供を考える患者・家族にとっても、携わる医療者にとってもよりよい体制を構築する機会として、定期的な意見交換により各医療機関での問題点等の共有及び連携を図った。また、例年、当財団が主催開催してきた終末期患者の思いにこたえるワークショップは、厚生労働省の連携事業の拠点施設となった香川大学医学部附属病院が主催開催し、当財団では引き続き、ワークショップ開催趣旨やプログラム、講師調整等の支援を行った。
（3）患者個票調査
　第 4 回かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議において、選択肢提示事例検討を行った。
（4）日本臓器移植ネットワーク主催の研修会等への参加

3　臓器移植に関する知識の普及啓発

（1）香川県臓器移植コーディネーター等による出前授業・講演の実施
　県内の警察学校や高校、看護学校等において、臓器移植に関する知識の普及啓発に努めた。
（2）臓器移植普及推進イベント、キャンペーンの実施
　臓器移植普及推進月間 (10 月) を中心に、イベントやキャンペーンを実施するなど、臓器移植に対する関心を持っていただき、意思表示欄の記入促進につながるよう、普及啓発に努めた。
・グリーンライトアップ、じんけんフェスタ 2025、高松赤十字病院 看護師さんのミニ講座、さぬきメディカルラリーにおいて移植に携わる医師・移植者の講演、高松市立みんなの病院文化祭 等 のイベントへ参加協力するなど臓器移植に対する関心を持っていただき、意思表示欄の記入促進につながるよう、普及啓発に努めた。
（3）普及啓発物の配布
　意思表示を普及啓発するウエットティッシュを 2,000 枚作成し、病院祭や病院主催の健康講話等で配布した。また、県内新成人、各種教育機関等に、意思表示説明用リーフレットや、小冊子「移植関係者の手記」等を配布した。
（4）広報活動
　三本松高校のボランティア活動部の生徒の協力で県庁舎内県民ギャラリーでのポスター・パネル展、RNC ラジオ放送の高松赤十字病院『さわやかナースステーション』にて臓器移植の現状や臓器提供の意思表示の方法、マイチャレかがわアプリを活用した啓発等、広報活動を行った。
（5）第 11 回香川県臓器移植連絡協議会開催
　関係機関の協力体制の構築を目的に、関係病院長や教育機関の関係者らによる連絡協議会を開催した。
（6）機関誌の発行
　財団だより　第 20 号　300 部発行

4　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

臓器提供者の遺族を訪問し、提供者への供花等を行った。(2 件)

令和8年度　事業計画

1　腎臓移植に関する助成

腎臓移植希望者の登録時の組織適合性検査費用の一部（1 人 20,000 円）を助成する。

2　臓器移植に関する関係機関との連絡調整

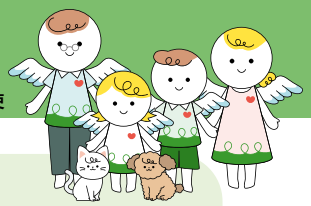
（1）院内体制整備
　各医療機関内で、提供事例発生の際に院内コーディネーターが関係部署と円滑に連携が図れるよう、院内マニュアルの作成や改訂、シミュレーションや研修会の開催を支援し、勉強会を行う。より多くの医療関係者が臓器提供の意思確認を行い、ドナーや家族の意思が確実に尊重されるよう支援する。
（2）かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議の開催（年 2 回）
　定期的な意見交換により、各医療機関での問題点等の共有及び連携を図る。
（3）実践的教育プログラムの開催
　救命困難な状況においても、その人らしい最期を迎えられるようにするとともに、遺される家族が患者の死を少しでも納得して受け止められるよう、家族の心情に配慮した丁寧なコミュニケーションを図れるようコミュニケーションスキルトレーニングや、医療従事者自身が倫理的な苦悩を抱え込まないよう臨床倫理の 4 分割表を活用したワークショップを開催する。
（4）患者個票調査
　臓器提供施設からドナーとなりうる患者の医学的データの収集を行い、今後の症例発生時に適切な対応ができるよう、かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議で事例検討を行う。
（5）臓器搬送訓練
　県内の医療機関からの臓器搬送に備えて、関係機関と連携し、時間的制約のある中で、安全に確実に搬送できるよう搬送訓練を行う。

3　臓器移植に関する知識の普及啓発

（1）臓器移植普及推進月間（10 月）
　主要施設のグリーンライトアップを中心に、県広報誌やラジオ番組等による広報、関係団体と協力した臓器提供意思表示説明用リーフレット、パンフレット、ポスター等の配布を行う。
（2）臓器移植コーディネーターによる説明会等の実施
　県民を対象に臓器移植コーディネーターによる説明会等を実施する。また、県内の高校、看護学校等の生徒、教員を対象とした出前授業を開催し、臓器移植に関する知識の普及啓発に努める。
（3）幅広い世代に向けた普及啓発
　幅広い世代の方々に、臓器移植に対する関心を持っていただき、ご家族や大切な方と、いのちのことや臓器移植について話すきっかけ作りとなるよう、地域貢献に積極的な団体等と連携したイベントや SNS 等を活用した継続的な啓発を行う。
（4）新規の免許取得者を対象とした普及啓発
　臓器移植の意思表示に対する関心を持っていただけるよう、自動車学校において、ポスター、パンフレット、意思表示説明用リーフレット等の掲出、設置などを継続して行い、運転免許証の裏面の意思表示欄の記入促進に努める。
（5）県庁舎での普及啓発
　年間を通して、県庁舎内にて掲示物等を用いて、職員や来庁する県民に対して啓発活動に努める。
（6）香川県臓器移植連絡協議会の開催
　県内の臓器移植関係者 (移植施設、提供施設、民間団体、県臓器移植コーディネーター等) で構成する香川県臓器移植連絡協議会を開催し、院内体制整備の充実と臓器移植の普及啓発を推進するための協議を行う。
（7）機関誌の作成等
　財団の機関誌を作成し、賛助会員・関係各所への配布、ホームページでの掲載を行う。

4　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

臓器提供者の家族への供花等を行う。



グリーンリボンキャンペーンの天使
ハーティファミリー

GREEN LIGHT UP Project.

10月16日は「グリーンリボンデー」です



今年も臓器移植普及推進月間である10月に、東京タワーをはじめ全国各地の著名なランドマークや建物が、移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップされます。香川県でも3か所（予定）をライトアップします。

この光には、ドナー（臓器提供者）への感謝に加え、移植を待つ人たち・移植を支える医療者等へのエールの意味も込められています。

グリーンにライトアップされた夜景を見ながら、ご家族や大切な方と、いのちのことや臓器移植について話してみてください。

点灯場所（予定）　●高松シンボルタワー　タワー棟
●四国電力本店・四国電力送配電本社　屋上鉄塔
●サンポート高松　市道港頭中央1号線

写真をお楽しみいただけます

活動報告

県内の臓器移植医療体制の強化を図るため、「第3回かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議」を令和7年7月、と「第4回かがわよりよい臓器提供体制をみんなで構築する会議」を令和8年2月に開催し臓器提供に直接かかわった医師・看護師に講演をしていただきました。





今回初参加の「さぬきメディカルラリー」では、救急医療に携わる医師･移植者に講演をしていただきました。

※メディカルラリー：病院前救護や救急医療現場で必要な知識・技能・判断力・チームワークを競う技能コンテストです。実際の現場を再現したシナリオでの対応力やチームワークの体感が重要な目的です。参加者は医師、看護師、救急救命士、消防隊員などで構成されます。





各医療機関が実施する院内研修会や脳死判定・脳死下臓器提供のシミュレーションも積極的に行いました。









そのほかにも、幅広い世代の方々に臓器移植や意思表示に対する関心を持っていただけるよう、高校生と共に県民ギャラリーにて普及啓発展示活動を行いました。

院内体制整備の充実と臓器移植の普及啓発を推進するための、厚生労働省より講師をお招きする等をして協議を行う「香川県臓器移植連絡協議会」を開催しています。

出前授業・講演のご案内

県内の教育機関や地域の会合、職場の研修などにおいて、臓器移植をテーマに、県臓器移植コーディネーターによる出前授業や講師をお招きしての講演等を行っています。

ご希望がございましたら、当財団までお気軽にご相談ください。



〈R7.8　四国こどもとおとなの医療センター研修会〉

臓器移植に関するお問い合わせをお受けします。

公益財団法人 香川いのちのリレー財団
☎087-832-3315　平日8:30～17:15

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
0120-78-1069　平日9:00～17:30

臓器提供意思登録
モバイルサイトからも意思登録できます。
登録はこちらから